

一中地区地域のふれあいを広める会

# ふれあい

### 主な内容

- 楽しいね! 園のお楽しみ会 1P
- 芸能音楽祭 2P
- あれやこれや / 私のためのしみ 3P
- 地域のわだい 3P
- 心に残る思い出 4P
- ボランティア活動紹介 / 部会だより 4P

●発行所/ひたちなか市長堀町 3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) 電話 029-275-2671 ●発行責任者/大和田 敬治 ●編集/広報委員会

## 楽しいね! 園のお楽しみ会



セロ弾きのゴーシュ さあ、大きな声で歌いましょう ハイ!

### たんぽぽ保育園



うわー 重たい!!

### 餅つきと生活発表会

1月11日、毎年恒例のお楽しみ会が、園児100人を含む総勢約300人が参加して開催された。初めに餅つき大会があり、園児たちは順番に並んで「よいしょ」「よいしょ」の掛け声に合わせて餅つきを楽しんだ。続いて生活発表会が行われた。大勢の保護者の前で、少し緊張しながらも一生懸命発表していた。

### 親子で陶芸教室

1月15~16日、年長組132人の園児とその保護者で、窯元から指導員を招いて陶芸教室が開かれた。親子共ども真剣にカップやお皿などを作っていた。栄光幼稚園では毎年卒園の記念に、年長組を対象にこの陶芸教室を行っている。

### 栄光幼稚園



うまくできそう(^\_^)



どんな形にしようかな?

### 親子でバター作り

1月14日、牛乳普及協会の方たちの指導のもと、親子でバター作りが行われた。当日は、全園児29人と保護者「学ぶFLYデー」(中学生の体験学習)で訪れていた勝田一中生も一緒に楽しそうにバターを作っていた。出来上がったバターは、用意されたパンにつけていただいた。

### 勝倉幼稚園



バターはおいしいね~



シャカ, シャカ, シャカ...おいしいバターにな~れ

# 芸能音楽祭

## 歌って踊って“気分は大スター”

2月22日、第23回芸能音楽祭が市文化会館小ホールで、33団体と観客も含め約700人が参加して開催された。民謡・コーラス・ダンス・太鼓・寸劇など、各自治会とコミセン利用団体が日頃の文化活動の成果を発表し、活気あふれる舞台となった。子どもたちの出演参加も多く、3世代交流発展を推進する「ふれあいを広める会」にとっても今後の発展が楽しみである。



Beat it K-style



親子で元気にミッキーマウスマーチ 三反田自治会 ( ^ \_ ^ ) /



ダンス Smile Best Wishes



太極拳 萌和クラブ



フォークダンス ロンド



颯爽と！ 唱歌メドレー ひばりコーラス



フラダンス レファクラス



ヒップホップ 富士山自治会



演奏「お前に」 大正琴ひびき

### 生涯の趣味「詩吟」

やよい吟詠 安 正三

1 昨年より当サークルに入会し、今回初めて発表させていただきました。練習は月3回、1中コミセンで先生のご指導のもと行っており、先輩女性たちの美声が響き渡っています。詩吟は腹の底から大きな声を出すことで、脳の血行を促進し活性化させると言われています。元気の源として継続したいと思っております。



### 「不思議さ」に魅せられて

中根自治会 片桐 茂暢

久しぶりに出演させていただきました。皆様方からの温かい拍手にお礼を申し上げます。私はマジックを始めて50年になりますが、子ども会や小学校の行事、老人ホームなどで観客の皆様からいただく感動に励まされ、続けてまいりました。今後ともこのような機会を通して、マジックの楽しさを広めてまいりたいと思います。



### リズムを創る「TAP TIPS」

タップダンスサークル 吉敷 康子

結成13年目となりました。当初からのメンバーも健在ですが、若手や子どもたちの上達は著しく、その「リズム感・記憶力」にも助けられながら、3世代がみんなで楽しく振付練習をしました。時間が許せばプラス一曲披露したいところでしたが、どの団体も気持ちは一緒。持ち時間は5分以内なので、続きは次回の楽しみとしました。



# 私のたのしみ



## 100への挑戦

坂部 明さん

松戸町にお住まいの坂部明さん(75)に、日頃の楽しみについてお話を伺いました。

前から100という数字にこだわりがあった坂部さんは、定年を迎えた記念に登山道具を揃え「日本百名山」に挑戦することにしたそうです。ご夫婦で百名山に登りながら、地域の自然を楽しむ会「あざみの会」にも入り月1回その他の山にも登って来ました。ところが2007年、85番目に「雲の平」經由黒部川源流の山、百名山「鷲羽岳」に登った後に心臓を悪くし、「百名山」挑戦を断念したそうです。

東北(秋田)出身の坂部さんは、山や春への憧れが強く、山登りをあきらめて「桜名所百選」に目標を切り替えました。一昨年、北海道「松前公園」や宮城県「白石川堤」など17か所に行ったそうです。「桜は、所によってバックに残雪の山・川・お城や石垣及びお堀などいろいろあって、素晴らしい!桜前線に合わせて東北を北上し、北海道の桜を見てフェリーで大洗に帰ってきたことがあったが、なかなか予定通りに桜の開花が合わなくて難しいよ」と、楽しそうに語っていました。100へのこだわりはまだまだ続き、「名松百選」「名城百選」にも挑戦したいとのこと。

山や桜の旅の記録も素晴らしく、日時・場所・説明・写真とコメントをファイルにまとめられ、まるでガイドブックを見るようでした。



桜名所百選「白石川堤」あざみの会 月例会



槍・穂高をバックに雲の平より

私は、自分の苗字が周りに少ないので、瀬川家の歴史を調べてみました。青森県の下北から上北郡の人たちが福島から来た事を知り、会津若松市に行き郷土の歴史を調べると、戊辰戦争の後に移住した一族という事を知りました。会津戦争で新政府軍との戦いに敗れ、家名存続を許された人々は、敢えて遠い北の大地に行く事を選択しました。

その後、今の下北半島から十和田の辺りまでの地域に斗南藩を設けました。自分の先祖が強い信念を持って背を向けた事、すくなく誇りに思います。先祖がつないだ命と教えを大切に生きて、思う今日この頃です。

我が家の家族構成は、我々夫婦と今年1月で満一才を迎えた柴犬の寅シローの、2人と1匹である。私も寅シローを迎えるに至ったきっかけは、それまで13年余り我々と暮らした愛犬ゴン太の死であった。彼はソフトバンクのコミニシャルに出てくるあの犬を想像してもらえば、ピッタリな犬である。大人しく利口な犬で、自分の限度をわきまえていた。台所のフ

り、私も寅シローを飼うべきか否か随分と迷った挙げ句、動物と一緒に暮らしたいという思いが勝り、寅シローを手に入れた次第である。寅シローはまだまだやんちゃで我々を手にこずらせる毎日だが、かつてのゴン太を理想に掲げて、「鉄は熱いうちに打て」の格言宜しく、日々犬格形成に奮闘中の毎日である。



### 先祖の歴史を知る

駅前南自治会

瀬川 顕吾

置きました。

最近叔父が家系図を発見し、そこに記載された先祖の住所を見て、自分の先祖が会津の人たちであった事を確認しました。

### 愛犬との暮らし

三反田自治会

平澤 茂昭

# あれや・これや



つてきて、そこから続く畳敷きの居間までは決して上がることはなかった。そのゴン太が1昨年の夏、悪性の血管肉腫という病でこの世を去った。

それから半年我々の余生と、犬の寿命を考えた時に、次の犬を飼うべきか否か随分と迷った挙げ句、動物と一緒に暮らしたいという思いが勝り、寅シローを手に入れた次第である。寅シローはまだまだやんちゃで我々を手にこずらせる毎日だが、かつてのゴン太を理想に掲げて、「鉄は熱いうちに打て」の格言宜しく、日々犬格形成に奮闘中の毎日である。

## 1中ミセンコーナ

### 絵画2点を展示

大平の古橋始治さんから、絵画及び額縁など約120点の寄贈がありました。2点の絵画を事務室前のロビーに展示し、額縁は、1中コミセンの絵画サークルなどの団体に無償で提供しました。華やかなひな祭り



今年もコミセンロビー・2階・3階にひな人形(寄贈品9点、賞品2点)が飾られています。年月を経た味わい深いひな人形や大きくて立派な七段飾りなど、各ご家庭で大切に飾られてきたもので、コミセン利用者の目を惹きました。

## 地域のわだい

### TBS子ども音楽コンクールで最優秀賞!

勝田第一中学校教諭 鶴巻 紀子

素直で前向きな生徒たちに出会い「心に響く合唱をつくろう」と始まったのが昨年の4月。明るい表情をつくるために笑顔で見つめ合ったり、高い声を出そうと腹筋体操を取り入れたりと、私のわがままな要求にも必死に向き合い、部員が一丸となって練習に取り組んできました。

TBS子ども音楽コンクールの最優秀賞。誰もが何かの間違ひではないかと耳を疑いました。情感たっぷりと表情豊かに歌えたご褒美は、部員たちの心に大きな自信と勇気をもたらしてくれました。

コーラスとともに、生徒の心が豊かに育んでくれることを願っています。



### 今年も盛況!「自治会アートイベント」

東中根団地自治会

「東中根団地第11回趣味の作品展」が2月15・16日の両日、団地集会所で開催され、絵画・工芸・手芸など多種多彩な作品が、延べ142人から278点出展されました。いずれも、独創性に富んだ作者の思いが見る人に伝わってくる、ぬくもりのある作品ばかりでした。

初日は悪天候に見舞われましたが2日間で300人を超える来場者があり、明るい会話が弾む賑やかな会場となりました。伊野昂会長は「作品を話題に、地域の皆さんが交流の場として楽しんでいただければうれしい」と話していました。



### 自治会便りがNIEコンクールで県知事賞受賞!

長堀・松戸自治会

第25回県教育広報・NIEコンクール(県教委・茨城新聞社共催)の教育広報紙部門において、長堀・松戸自治会便りが見事「県知事賞」を受賞しました。

当自治会では、昨年度46号から51号までの自治会便りと2回の号外を発行。(A4版見開き4頁カラー)この1年間の自治会の活動報告やアンケート調査、そして運動会の結果などは号外として配布するなど、明るい地域づくりに寄与する内容が評価されたものです。

なお、平成24年度も同コンクールにおいて優秀賞を受賞し、2年連続の受賞です。



賞状を手にした桑原自治会長



## 心に残る思い出

### 蓄音機と歌

金上自治会 矢野 世紀

昭和17年1月、東京市蒲田西六郷で生まれた。東京はまだ市であり、まさに開戦1ヶ月後の頃である。やがて東京空襲が激しくなり、やむを得ず父の実家の栃木県茂木町へ転居した。この時の赤く染まる東京の空が、幼心の記憶にある。

転居を繰り返しても、犬のマークのあるピクチャーの蓄音機が身近にあって、小さい頃から童謡や歌謡曲、また浪曲や落語を聴いて親しんできた。父も音楽好きで、尺八・横笛・ハーモニカ、時にはピアノなどを聴かせてくれた。レコードはどれも戦前のもので「悲しき子守歌」「旅の夜風」など今でも十数枚が残っている。

そんな関係で、小さい時から人前でよく歌った記憶がある。中学1年のバス遠足で「あこがれの郵便馬車」を歌ったのも思い出のひとつ。もちろん高校の頃は、三橋美智也・春日八郎の歌が好きでほとんどの歌を覚えたものだ。小さい頃から覚えた歌は忘れないものである。また、その時の情景を懐かしく思い起こすことができる。

昭和53年、松戸体育館での「NHKのど自慢大会」に出場し、春日八郎の「長崎の女」を歌った。以来人前で歌う機会が増え、常時新しい曲の情報を得て覚えるようにしている。明治・大正・昭和・平成とほとんどの歌を集め、いつでも引き出すことができる。

蓄音機で音楽に慣れ親しんだおかげで、今は歌が心の灯しびとなり、歌は『吸酸除炭』の効果もあって、脳の活性化を図り今を楽しんでいる。

昭和8～16年頃のレコード

ロス・プリモスと一緒に

## ボランティア活動紹介

### 地域の方々の温かい心の通った、中根駅

おらが湊鉄道応援団・中根駅班

「おらが湊鉄道応援団」をご存知ですか。この応援団は様々な活動で「ひたちなか海浜鉄道湊線」を盛り上げバックアップしています。今回は、その中の「おらが湊鉄道応援団・中根駅班」のボランティア活動について紹介します。

広々した田んぼを見渡す中根駅は、県内外の写真マニアが時々降り立ち、のどかな田園風景の中を走る湊線のディーゼル気動車をねらって写真撮影しています。桜や菜の花が咲く頃や、収穫前の稲穂が黄金色に染まる田んぼの中を走る気動車を撮るなど、ローカル鉄道マニアにとって格好の撮影スポットになっています。

「おらが湊鉄道応援団・中根駅班」は、3年前の東日本大震災後（湊線が復旧した時）に発足して、毎月第1日曜日の午前中に活動しています。メンバーは雲類警警さんを班長として、中根駅周辺住民やその他の地域から来られる方（30人前後）で、中根駅とその周りをきれいにしています。駅のホームには花壇をつくり、季節の花を絶やさないう、木を植えたり草花を植え替えたりしています。駅舎の腰掛には手作りの座布団を付け、かわいいベンチや切り株イスも備えました。5月頃からは周りの除草（これが大変）と花壇への水やりなどが欠かせません。周りの土手には、桜の木や彼岸花（約1万本）が植えられています。

平成25年度ひたちなか市「花と緑の環境美化コンクール」では、団体職場の部で優秀賞を受賞しました。これらはすべてこの応援団のボランティアによるもので、この駅を利用する人たちに喜んでもらえるよう活動しています。田んぼの中の無人駅ですが、中根駅はこのような地域の方々の温かい心が通った駅なのです。

## 部会だより



### 環境部会

環境部会では、一中地区内の地域を重点地域パトロール区域として、クリーン運動を展開している。

今回（2/7）は市の職員2人も参加して、三反田地区水防基地から那珂川沿いの堤防上の道とふるさと道路の、ゴミ拾いを実施した。燃えるゴミと燃えないゴミを合わせて20袋程と、車の往来が多い道路のため多くのゴミがあった。ポイ捨てはなくしたいものである。

### 福祉部会

2月15日、悪天候にもかかわらず45人が参加して、一中地区「幼児安全法」講習会が行われた。

幼児期に起りやすい事故の予防と、身近にあるハンカチやストッキングを用いた応用包帯法を学んだ。

親子を含む参加者は、止血法（手と指）包帯法（頭部）固定法（前腕）の実技を通して、楽しく学ぶことができた。



### 青少年部会

今年で7回目を迎える「親子ふれあいスキー」が2月1日、福島県安達太良高原スキー場で開催された。

大型バス2台で、親子約80人が参加した。バスの中では、友達や親子がスキーの話で盛り上がり「早く滑りたい」という気持ちが賑やかさを増していた。

現地では、スキー教室に入った子は帰りには滑れるようになり、滑れる子は自由にリフトに乗って滑り、大いに楽しんだ。帰りのバスでは、ほど良い疲れと満足感いっぱい「また来年も参加したい」という声が多く寄せられた。

### 編集後記

早いものでこの「ふれあい」82号で25年度も終わります。あれやこれや・私のたのしみ・地域のわたい・部会だより・芸能音楽祭特集と恒例の内容ですが、少しでも地域の皆様に興味を持って読んでいただきたいと、毎回努力しております。

今号は、地域の幼稚園や保育園の園児たちを特集しました。未来を担う子どもたちの姿から、元気を受け取っていただけなら幸いです。



### 体育部会

12月8日、ひたちなか市へルスバレーボール大会が総合運動公園体育館において開催された。9つのコミュニティ組織からそれぞれ3チームと前年度優勝チーム合わせて28チームが参加。

一中地区からは三反田ルーキー・駅前南ジャイアンツ・ブレイカー（金上）が、熱戦を繰り広げた。駅前南とブレイカーは「決勝トーナメント」に進出したが、惜しくも入賞できなかった。また、決勝進出を逃したチームで構成する「フレンドリートーナメントの部」においては、三反田ルーキーが優勝した。